

Press Release

令和7年1月10日（金）午後7時
宮崎県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部
宮崎県農政水産部畜産局

【県内2例目】

串間市における高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例の発生について

（第1報）

本日、家畜伝染病「高病原性鳥インフルエンザ」が疑われる事例が串間市の肉用鶏農場で確認されました。

なお、現時点では、簡易検査でA型インフルエンザ陽性が確認されたのみで、「高病原性鳥インフルエンザ」と確定したわけではなく、現在行っているPCR検査において、陰性と診断される場合もあります。

同検査結果が陽性となった場合に備え、県では本庁に宮崎県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部、南那珂農林振興局に現地対策本部を設置し、併せて串間市においても対策本部を設置するなど、防疫体制を整備しています。

また、県は、宮崎県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部会議を书面開催し、今後の対応方針を確認しました。

1 農場の概要

所在地：串間市
飼養状況：飼養羽数 約3万羽（肉用鶏）

2 確認の経過

- （1）本日午後0時10分、宮崎家畜保健衛生所が、当該農場から死亡鶏が増加した旨の通報を受け、農場立入検査を実施。
- （2）本日午後3時30分、宮崎家畜保健衛生所が、当該農場において鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、A型インフルエンザ陽性を確認。
- （3）本日午後6時50分、宮崎家畜保健衛生所において、当該農場から持ち帰った検体について鳥インフルエンザの簡易検査を実施したところ、A型インフルエンザ陽性を確認。併せて、宮崎県高病原性鳥インフルエンザ防疫対策本部会議を书面開催し、今後の対応方針を確認。

3 当面の対応

- （1）確定検査（PCR検査）の実施
- （2）防疫対応
 - ① 周辺農場に対する移動自粛の要請
 - ② 発生に備えた防疫措置の準備

4 その他

- （1）我が国の現状において、鶏肉や鶏卵等を食べることにより、ヒトが鳥インフルエンザウイルスに感染する可能性はないと考えています。
- （2）現場での取材は、本病のまん延を引き起こすおそれがあること、農家の方のプライバシーを侵害しかねないことから、厳に慎むよう御協力をお願いいたします。特に、ヘリコプターやドローンを使用するの取材は防疫作業の妨げとなるため、厳に慎むようお願いいたします。
- （3）今後とも、迅速で正確な情報提供に努めますので、生産者等の関係者や消費者が根拠のない噂などにより混乱することがないように、御協力をお願いいたします。

問い合わせ先
宮崎県畜産局
電話番号：0985-26-7140
担当：井上、黒木（豊）